

TOWN MEETING

希望を持てる 日向市座談会

2026 7月9日 木

市役所1階市民ホール



これからの観光について

本日の会次第

1. 開会
 2. 市政の動き(4月22日以降)
 3. 定例6月市議会報告
 4. 意見交換
- 「これからの観光」

市政の動き

マスター社が市長を表敬訪問



台湾のEVバス製造企業「マスター社」が、日向市内に研究施設を開設することを発表しました。
EVバスの性能向上や自動運転の研究を進める方針で、将来的には市内でのEVバス製造も視野に入れているとのことです。

市政の動き 各種の要望活動



5月13日から15日まで及び25日から26日まで、県選出国會議員への要望活動、九州市長会への出席、九州地方整備局や関係省庁等への要望活動を行いました。

日向市の課題や必要な施策について直接説明し、国・県の支援や連携の強化をお願いしました。

市政の動き 熊野市とのパートナーシップ協定を更新



5月23日、三重県熊野市とパートナーシップ協定を更新しました。
碁石や神武東征ゆかりの地というつながりを生かし、特産品の活用や
共同プロモーションなど、今後の連携強化を確認しました。

6月議会で承認された予算

◆令和8年度6月補正予算

一般会計
+ 3億8694万6千円

特別会計
+ 104万7千円

◆令和7年度3月専決(増額分)

一般会計(増額)
+ 1千723万9千円

特別会計(増額)
+ 2万7千円

参考：＜令和8年度予算＞補正後の総額

一般会計（総額） 364億4749万3千円

特別会計（総額） 149億8504万7千円

＜令和7年度予算＞

一般会計（総額） 393億6685万2千円

特別会計（総額） 141億6747万4千円

令和8年第3回 日向市議会(定例会)に提出した議案

【提案予定の主な条例案】

4 日向市児童福祉施設における虐待審議会条例

【内容】

児童福祉法の一部を改正する法律の施行により、児童福祉施設の職員等による虐待に対し市が行った措置に関する報告等を行うことを目的に審議会を設置する必要があることから、制定するもの。

【施行日】 公布の日

【提案予定の主な事件決議】

2 財産の取得について

【内容】

小学校の学習者用コンピュータの更新に伴う売買契約の締結について、地方自治法等の規定に基づき、議会の議決を求めるもの

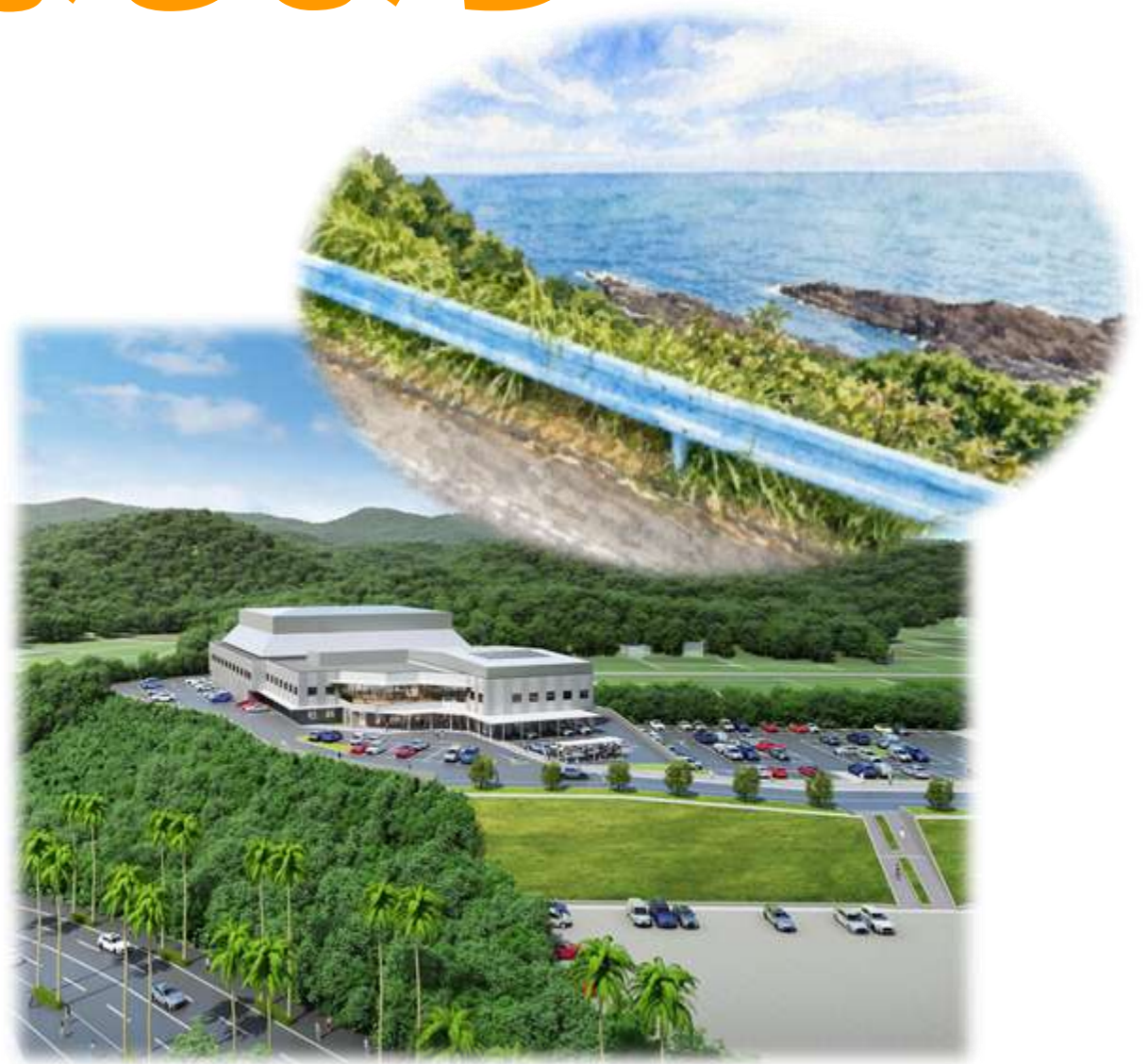
【契約の方法】 一者随意契約

【契約の金額】 189,026,640円

【契約の相手方】

宮崎市高千穂通二丁目1番16号
NTT西日本株式会社 宮崎支店

来てみたくなるまち に向けた取組



TOWN MEETING

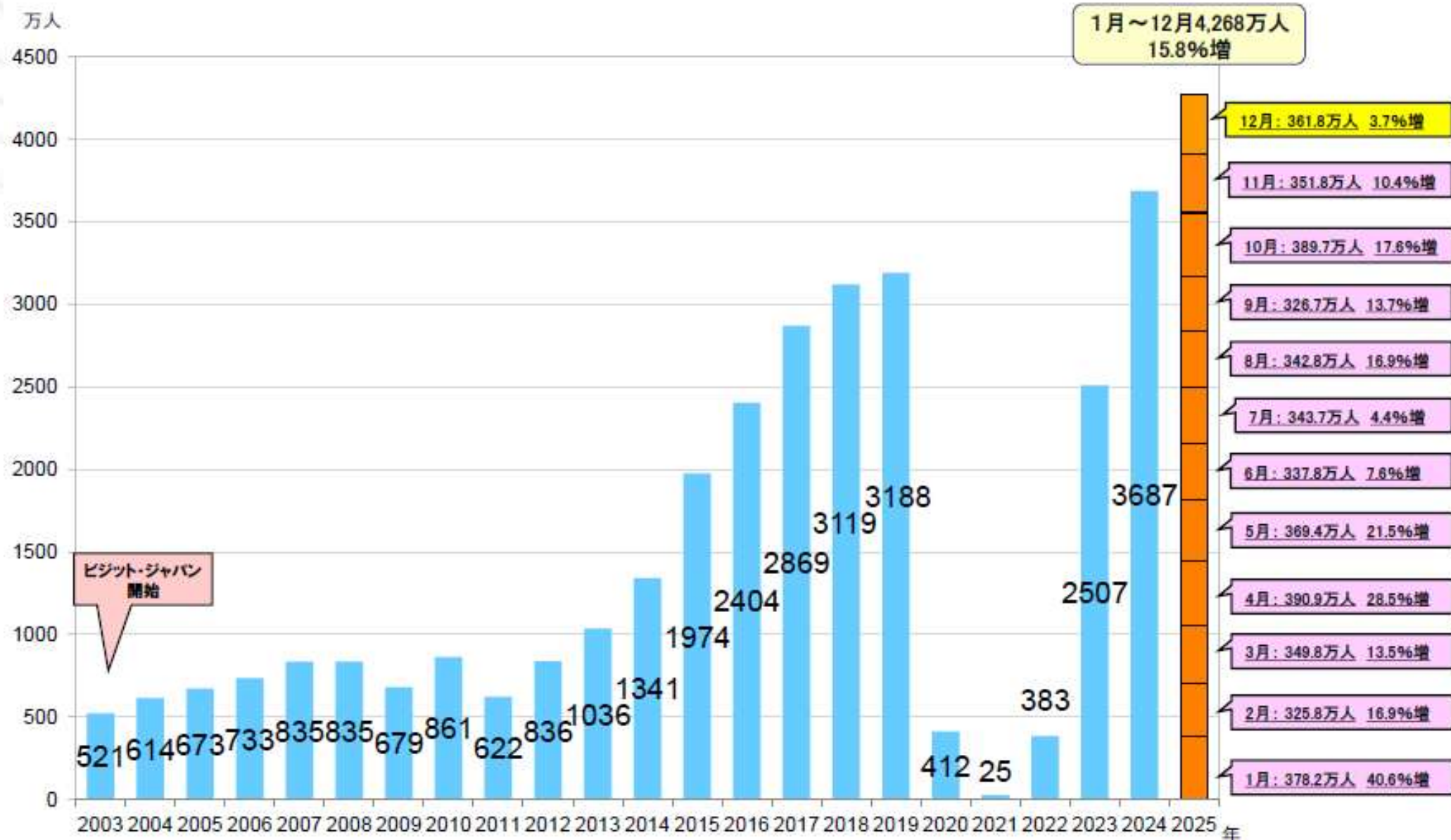
希望を持てる 日向市座談会

トークテーマ

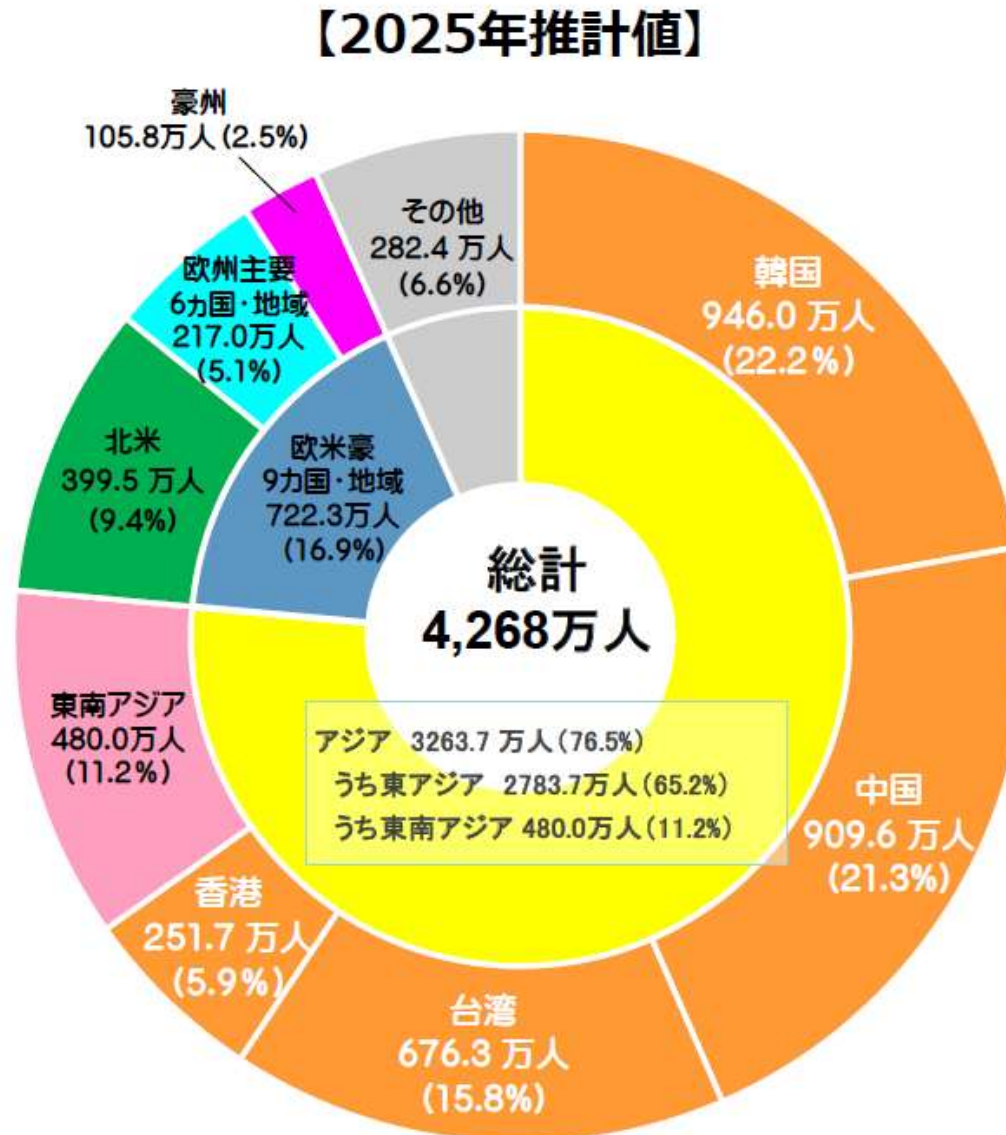


これからの観光

訪日外国人旅行者数の推移



2025年の訪日外国人旅行者数及び割合[国・地域別]



2025年の訪日外国人旅行消費額

インバウンド消費動向調査

■ 2025年 訪日外国人旅行消費額 **9兆4,549億円**

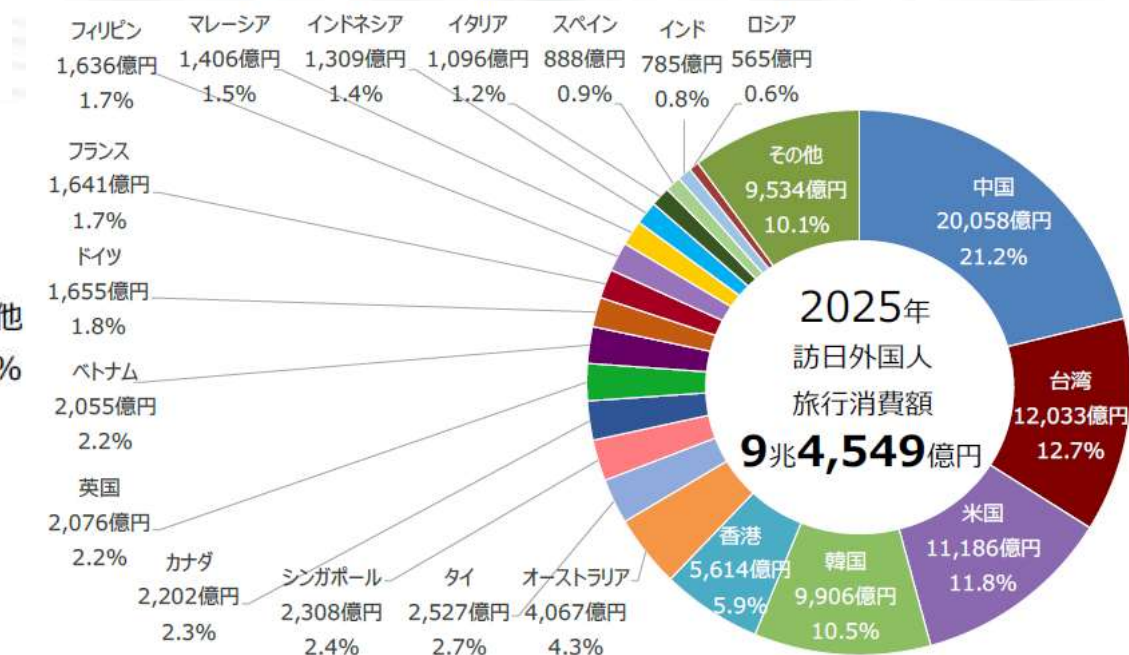
- 2025年の訪日外国人旅行消費額は総額で9兆4,549億円と推計される。
- 訪日外国人旅行消費額を費目別にみると、宿泊費が36.6%、買物代が27.0%、飲食費が21.9%を占める。



■ 旅行消費額の多い国・地域 ①中国 ②台湾 ③米国

- 国籍・地域別では、①中国 ②台湾 ③米国 ④韓国 ⑤香港の順で旅行消費額が多い。
- 上位5か国・地域で、訪日外国人旅行消費額全体の62.2%を占める。

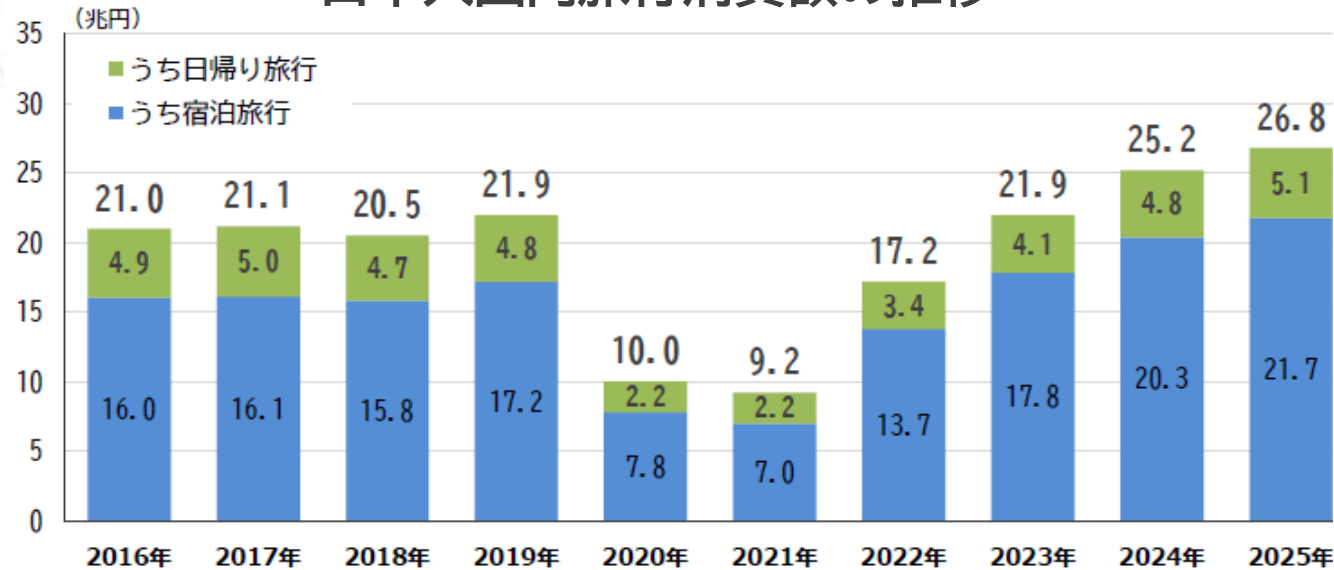
■ 2025年 一般客1人当たり旅行支出 **22.9万円**



2025年の日本人国内旅行消費額と日本国内での旅行消費額

旅行・観光消費動向調査

日本人国内旅行消費額の推移



[2025年]

日本人国内旅行消費額: 26兆7,845億円

(宿泊旅行: 21兆7,211億円、日帰り旅行: 5兆634億円)

日本人国内延べ旅行者数: 5億5,313万人 うち(宿泊) 2億9,997万人、(日帰り) 2億5,316万人

日本人国内旅行1人1回当たり旅行支出: 48,424円/人 うち(宿泊) 72,412円/人、(日帰り) 20,000円/人

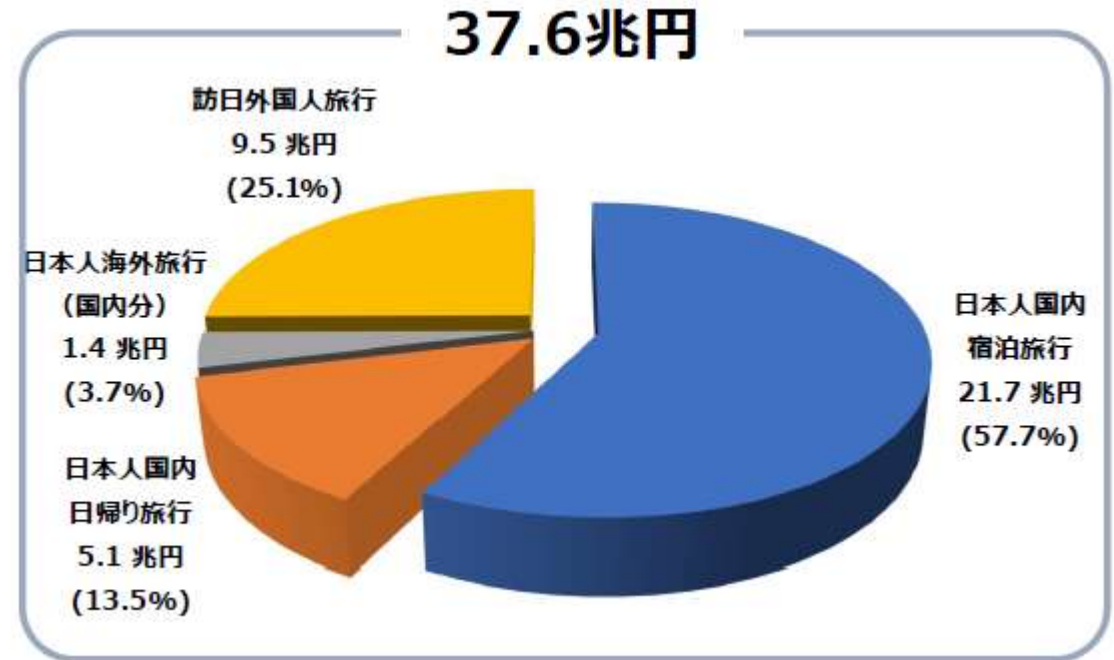
宿泊旅行統計調査

[2025年]

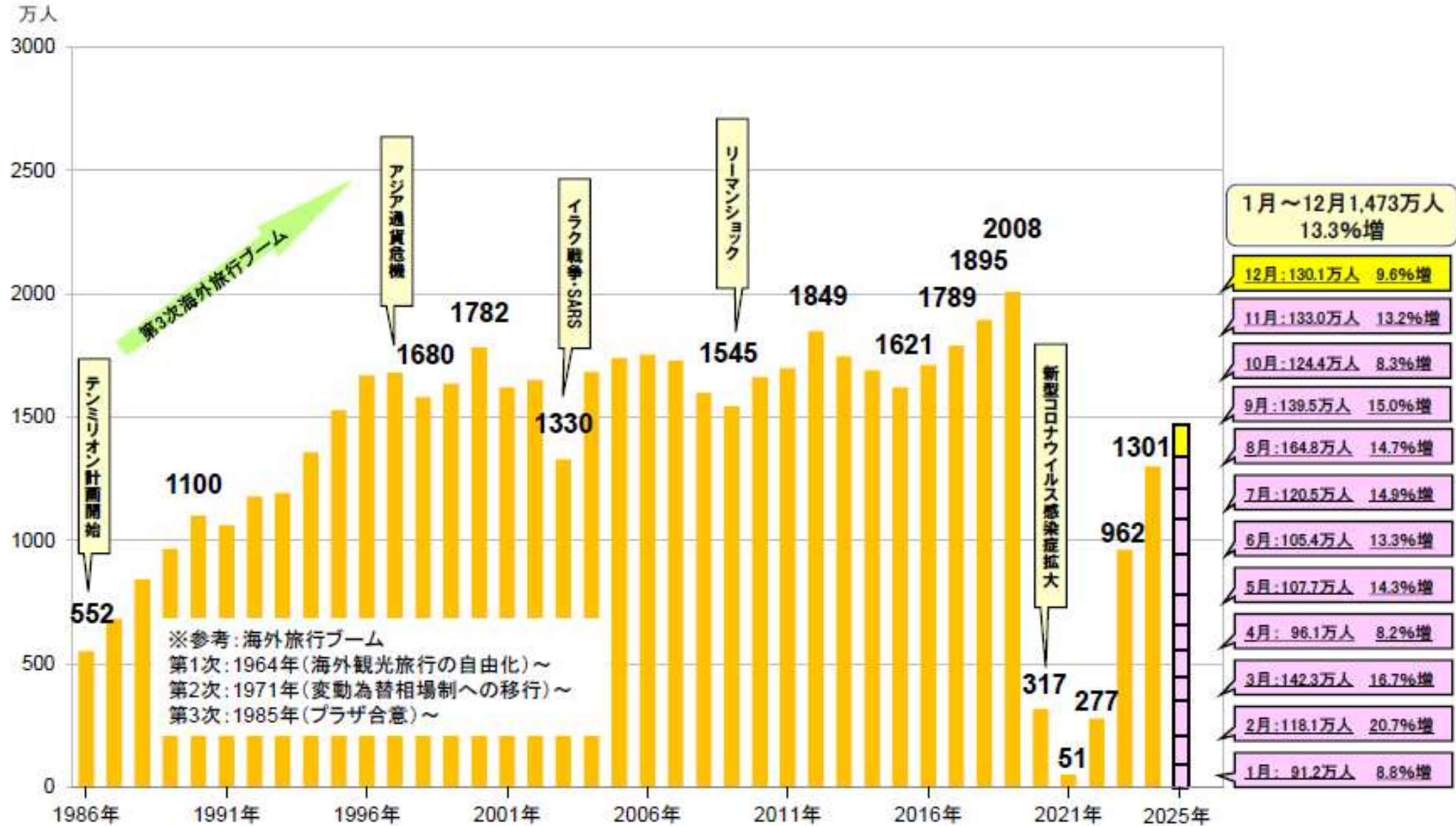
延べ宿泊者数(全体): 6億5,348万人泊 (387万人泊) ※ () は宮崎県

うち: 日本人 4億7,561万人泊 (361万人泊)、外国人 1億7,787万人泊 (26万人泊)

2025年の日本国内での旅行消費額

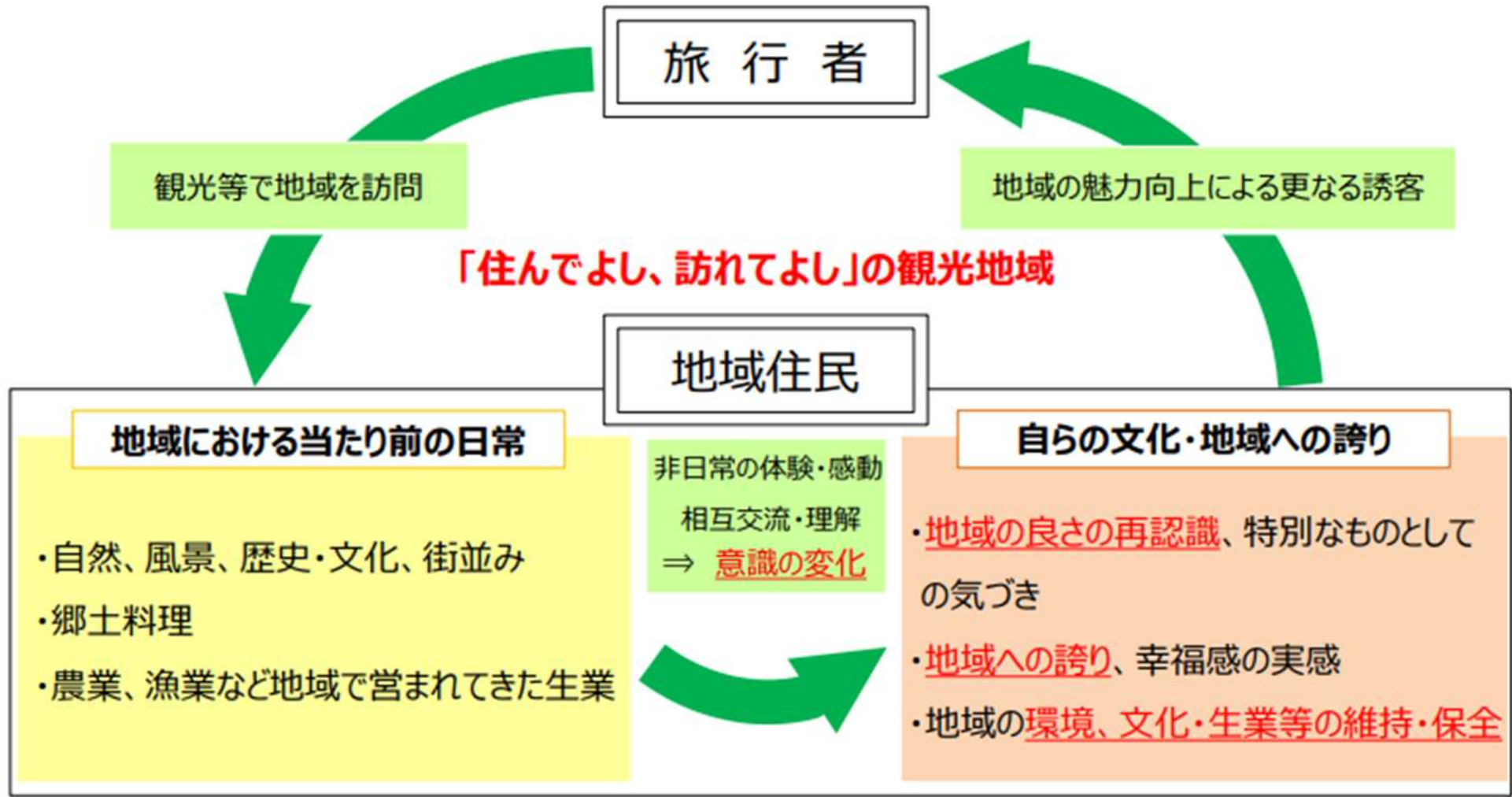


出国日本人数の推移



「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくり

旅行者に、地域の文化や生業等に触れてもらうことで、地域住民も、その価値を再認識し、自らの地域等を誇りに感じる
→ 地域の更なる魅力向上を通じて、旅行者・地域住民の双方の好循環を実現



日向市観光戦略

日向市観光戦略（R7.4～R11.3）

戦略の意義	基本施策（第3次日向市総合計画）
1 地域経済の活性化 2 地域資源の最大活用と価値向上 3 持続可能な観光の実現 4 関係人口と定住人口の増加 5 シビックプライドの向上 6 コロナ後の新しい観光需要に対応 7 観光のブランド価値向上と競争力強化 8 人口減少が進む中、稼ぐ力の維持・成長が重要	行ってみたくなるまちづくり 誇りと愛着を育み人が集まるまちづくり 1 プロモーションの推進 2 持続可能な観光地域づくりの推進 3 観光施設の利活用促進 4 国内外誘客による観光消費の拡大 5 スポーツキャンプの誘致 6 サーフィン大会の誘致及びビーチの賑わいの充実 1 地域ブランドの確立とシビックプライドの醸成 2 ワークーションの推進

分析	策定委員会・WG会議	改定において必要な要素
○観光の現状 ○観光客の傾向 ○コロナ禍後の観光動向 ○ポストコロナ観光戦略評価	○策定委員会・ワーキング会議の開催 ○市内高校生アンケート ○旅行者アンケート ○SWOT分析	1 インバウンド戦略の強化 2 滞在型観光の促進 3 観光DXの推進 4 地域資源の活用と多角化 5 持続可能な観光の推進 6 日向坂46とのコラボレーションの拡充 7 稼ぐ力に注力した取り組みの推進

重点施策		
※特に観光客誘致及び観光消費額拡大に寄与するとともに、今後の大きな潮流に対応した3つの施策を重点施策として設定		
重点施策1	重点施策2	重点施策3
観光消費額拡大に向けた取り組みの充実 滞在時間の延長と観光消費額の増加を目指し、地元の地域資源や観光コンテンツを活用して、観光客の満足度向上を図ります。	観光客誘致に向けたブランディングと情報発信強化 国内外観光客を誘致するため、本市の魅力を発信し、認知度を高めることを目的に、観光客の訪問動機を高め、リピーターの増加を目指すブランディングと情報発信を強化します。	過渡型観光からの脱却を目指した観光地域づくり 滞在型観光地としての基盤を整え、観光客の滞在時間を延ばすことで地域経済への貢献度を高めることに取り組むとともに、観光客が「滞在したくなるまちづくり」への転換を目指します。

重要業績評価 指数（KPI）	基準値 2023年	目標値 2028年	重要業績評価 指数（KPI）	基準値 2023年	目標値 2028年	重要業績評価 指数（KPI）	基準値 2023年	目標値 2028年
観光消費額	2,368,995 千円	3,782,000 千円	観光入込客数	1,102,410 人	1,760,000 人	市内宿泊客数	164,592 人	230,000 人

具体的な取組①

○ SNS等を活用した情報発信

⇒ 航空会社の機内誌広告掲載や発信力のある著名人による情報発信、InstagramやX(旧Twitter)によるイベント情報発信等を実施



○ 国内外における観光物産展等の企画・催行及び出展

⇒ 首都圏や近畿圏、三重県熊野市、宮崎空港のほか、台湾、韓国において、本市特産品のPRや販売、観光誘客を実施



具体的な取組②

- 「日向ひょっこり」などの地域資源を活用したPR
⇒ 観光物産展等でひょっこりを披露



- 「へべす発祥の地・日向」としてのブランドイメージの維持・向上、
その他ブランド産品等のPR
⇒ へべすのふるまい
へべす収穫祭の開催等



- テレビドラマやCM等ロケーション撮影の誘致及び支援

具体的な取組③

○ PR資材の制作

⇒ チラシやポスター、のぼり旗、横断幕



○ クルーズ客船の受入

⇒ 令和7年度受入実績: 11隻、乗客 3,791人(うち外国人 868人)

寄港岸壁において、和太鼓演奏やひょっこり踊りなどのおもてなし、観光物産展の開催、市特産品のふるまい、無料シャトルバスの運行、観光案内等を実施



具体的な取組④

○ デジタルノマドやワーケーションの受入

⇒ 長期滞在、消費額拡大



○ インバウンド誘客

⇒ 韓国、台湾から有力なインフルエンサー、旅行会社を招請し、市内の観光スポット・飲食店等のファムツアーを実施

○ スポーツキャンプの誘致

⇒ 東北楽天ゴールデンイーグルス、フェニックス・リーグ



○ ふるさと日向市応援寄附金の募集・受付

⇒ 令和7年度実績: 13.4億円



今後の取組予定①

○「ひなたフェス2026」開催にあわせたプロモーション

⇒ JR九州の協力による日向市駅の「日向坂46駅」装飾
観光誘客を目的とした市内の聖地化（中心市街地・日向岬ほか）
当日の会場における物産展 等



今後の取組予定②

○ 新たなシティプロモーション

⇒ これまでのサーフタウンの歩みを
土台にしつつ、市民の皆さんの声を
集めて生まれた新しいテーマは「休み」

日向の良さを大切に守りながら、誰もが
心おきなく休めるまちづくりを目指し、
この新しい価値を国内外に発信して
多様で多彩な日向の魅力を伝え、
地域の活性化につなげていきます



世界でいちばん、休める街へ

人間がしあわせに暮らすために、いちばん大切なこと。
それは、休みだ。

はたらくことも大切だけど、休むことはもっと大切だ。

こまめに休むから、力がわく。
楽しく休むから、アイデアがわく。
ゆっくり休むから、希望がわく。

だからこそ日向は、毎日にも休日にも、
ヒューっと一息、
リラックスできるいろんな時間をふやしていきたい。

暮らす人も、遊びに来てくれる人も、
だれもが心おきなく休める場所でありたい。

生きていくためにかけがえのない「休み」を
どこよりも見つめて、
ひとりひとりの声に耳をすましながら。

日向市はこれから、
世界でいちばん休みを大切にする街になります。

The Most Relaxing Town

ヒュー！日向

今後の取組予定③

○ お倉ヶ浜ビーチを楽しめる賑わい拠点の整備

⇒ 若者からシニア、こども連れの家族、県外や海外からの観光客など、多様な世代、多様な人が安心して楽しみ、心おきなくリラックスできる拠点の整備

(飲食・イベント・ワークスペース、キャッシュレス対応パーキング、多言語デジタルサイネージ、防災情報発信等)



今後の取組予定④

○ ひゅうがの魅力再発見、賑わい創出プロジェクト

⇒ 本市の自然環境や住みやすさ、豊かな食・特産品などの魅力を発信する総合的なプロモーション

- ・持続可能で住み(つづけ)たくなる観光地域づくり
- ・移住プロモーションによる移住検討者への認知度向上
- ・保育園留学事業(都市部の親子が滞在できるプログラム)の実施

○ インバウンド受入環境整備

⇒ 多言語案内・表記(観光スポット・飲食店等)
キャッシュレス決済対応
トイレの洋式化
Wi-Fiの導入 等



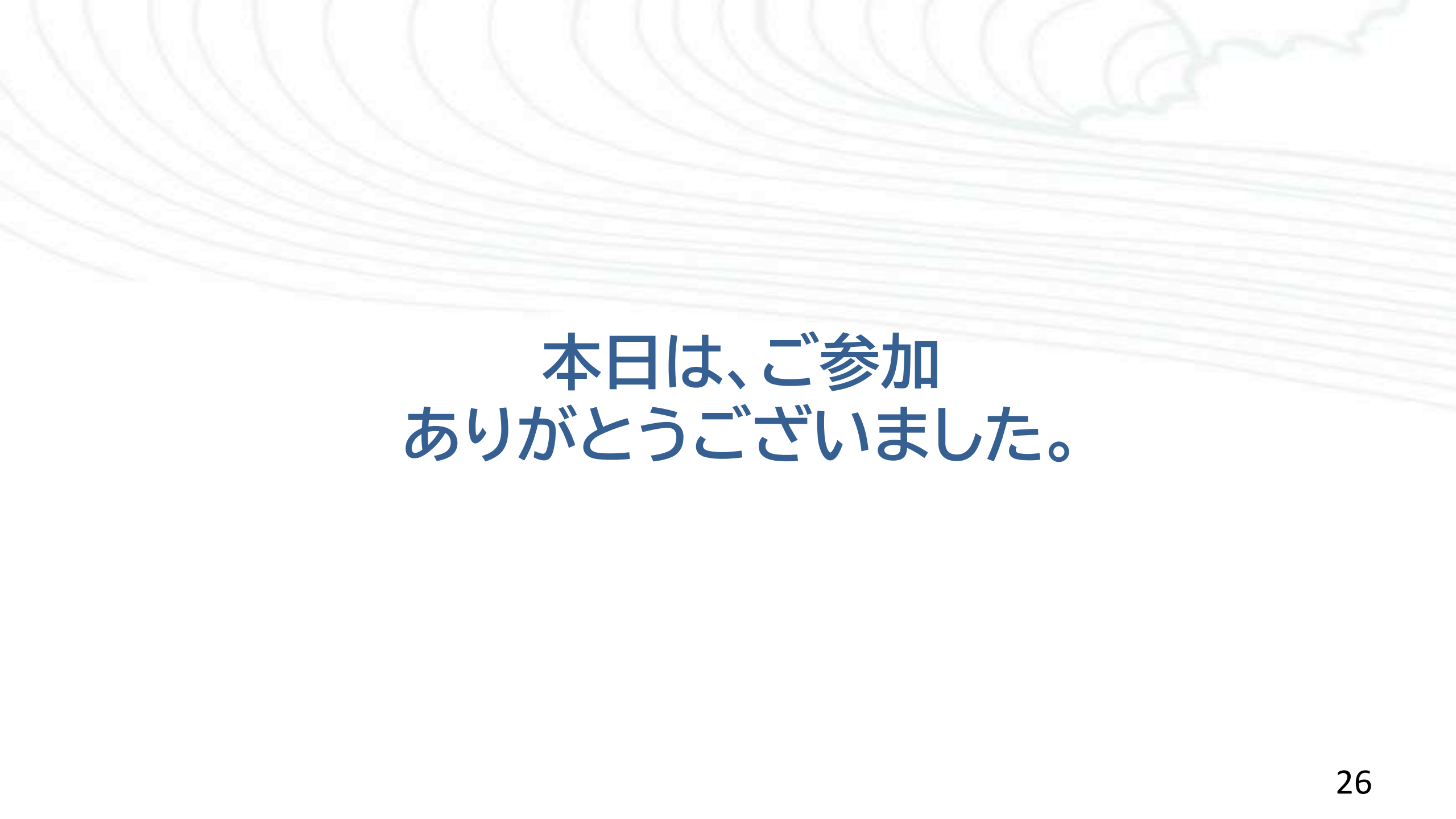
希望を持てる 日向市座談会

トークテーマ

これからの観光



- ▲ご意見は1人概ね2分以内でお願いします。
- ▲ベルで時間をお知らせします(2分でベル1回)



本日は、ご参加
ありがとうございました。